

9月の中小企業月次景況調査 (茨城県)

〔平成28年9月末現在〕

平成28年10月12日
茨城県中小企業団体中央会

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」全ての指標で改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」は悪化した、「収益状況」は改善した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」全ての指標で改善した。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-34.6ポイント、非製造業は、前月比11.3ポイント改善の-40.9ポイント、全体では、3.3ポイント改善の-37.5ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-19.2ポイント、非製造業は、前月比24.7ポイント改善の-31.8ポイント、全体では、9.7ポイント改善の-25.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-38.5ポイント、非製造業は、前月比16.0ポイント改善の-31.8ポイント、全体では、11.5ポイント改善の-35.4ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年9月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品	パン	人手不足が深刻化しており、人員の確保に努めるとともに、生産能力を向上させ、安心して安全な給食のパンを子供たちに提供したい。そのためにも、賃金や労働時間の見直しが必要であるが労働環境が厳しい業界なので、従業員を募集しても応募がない状況。外国人の活用も検討していく必要があるかもしれない。	
	味噌		
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県の8月の課税移出数量は、前年同月比105.8%と2ヵ月ぶりに前年を上回った。特定名称酒については、112.8%と大きく増加となった。また、本格焼酎についても、119.0%と大きく増加した。 ○県内当業界について 今年も10月1日の全国一斉日本酒で乾杯を、東京の中央会場(明治記念館)と中継を結んで、水戸京成ホテルにて開催した。20歳のブースを設け、来場者は300名を記録した。今年は新しい試みとして、一斉乾杯の前に、県清酒鑑評会出品酒の一般公開を行った。また、10月7日の東京浅草花やしきでの「茨城の地酒まつり」は、9月中旬に前売りチケットが完売した。11月24日には、例年実施している県清酒鑑評会表彰式及び技術研究会(講演会)を開催する。	
	納豆	天候不順の為、観光客が少なく、全体的に売上が悪かった。 また、現場作業員不足となっている組合員事業所が装荷している。中小企業では、最低賃金の上昇による人件費の増額分を製品価格に転嫁することが難しいため、厳しい状況になると思われる。	
	菓子	天候不順が続き、売上、収益共に減少幅が大きく、低調な1ヵ月となった。10月からの行楽シーズンに期待したい。	
	繊維工業	織物	
		縫製	
		袋物	天候不順の影響もあり、仕事量の少ない会社があった。10月以降に期待したい。
	木材・木製品	製材	大手ハウスメーカーが堅調な一方で、地場工務店は営業活動を行っても新規受注を得ることが難しい状況である。 製材・プレカット工場・小売店の各分野とも特定の業者に仕事が集中する傾向が見られ、業況は低調な状況が続いている。 仕事の多くは、増改築などの細かな仕事となっており、全般的に先行き不透明感が強い。
		プレカット	売上は、目標の70%となった。10月上旬は予定が入っているが、下旬はまだ予定は入っていない。また、天候不順の影響により、工期に遅れが生じた。
紙・紙加工	段ボール	大手に仕事が流れてしまい、なかなか前年を上回る数字を出せない状況である。	
印刷	軽印刷		
	総合		
化学・ゴム	プラスチック製品		
窯業・土石製品	石材		
	コンクリート製品		
	焼物	例年同様、商品に動きが見られない夏場となったが、販路開拓に動いた結果、東京オリンピックに向けた飲食店等との取引が見え始めた。	
鉄鋼・金属	鍍金	前年同月比でみると、売上は1割程度の減少。自動車、建機、機械、電気製品等は1~3割程度売上が減少となった。 材料価格については、金属(銅・亜鉛・ニッケル・貴金属等)、工業薬品の価格とも大きな変動は無い。電気代は、1割程度下がり、非常に助かっている。また、ガソリン等の燃料費は一時期に比べ、数%の値上がりとなった。	
一般機器	精密機器		
	工業団地	○対象7組合員(製造会社)の売上状況は、増加1社、減少6社、全体増減率102%となった。 ○市場(得意先生産等)動向と組合員への影響 組合の中の主力企業の受注が増加して団地全体としては前年並みの売上となったが、その他の組合員6社は前年割れが続く、厳しい状況となった。	
電気機器	重電		
	電化機器	生産高は前年同月比、20.1%の増となった。自動車関連の一部事業所の生産高が大半を占めている。(自動車関連事業所全体での生産高は前年同月比で26.9%の増) 一方で、家電関連事業所の生産高は一向に向上せず大変厳しい状況が続いている。(家電関連事業所全体での生産高は前年同月比で9.69%の減)	
輸送機器	自動車部品	売上高がやや増加傾向に推移し、一時期の停滞感から脱することができた。但し、企業間の回復程度には大きな格差が生じている。	
	昇降機		
その他の製造業			

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成28年9月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	稼働日が前年に比べて、2日少なかったことも影響し、精算所取扱高は前年同月比2.68%の減少となった。
	県南地区卸売	敷地狭隘のため、組合員が1名脱退となった。
	食品卸売業	野菜、果実合計で前年同月比94%の取扱高となった。野菜に関しては、単価安で推移した前月までと一転して、天候不順、日照不足によって生育が停滞し、単価高で推移した。特に北海道産の人蔘などが、台風の影響を受け、大幅に価格が上昇している状況。価格の上昇と品質の低下(いたみなど)で各小売店では、販売に苦慮している状況となっている
	セメント	袋セメントの出荷袋数は前年同月比、約13%の減少。建設工事が少なく、減少が続いている。
小売業	県北地区共同店舗	台風等の天候不順の影響により、客足が伸びず、前年同月比は売上84.3%、客数92.5%となった。
	県央地区共同店舗	
	県南地区共同店舗	苦戦が続いていた、アミューズメントの売上が前年同月比130%と好調であったが、秋物が絶不調で衣類の売上は、前年同月比75%となった。全体的に天候不順が大きく響いた月となった。
	クレジット	
	家電	前年が不調だったため、前年同月比で見ると、収益が若干好転した。人助けの精神が商いを支えてくれる事に期待し、心を込めた訪問活動を推進したい。
	石油	原油価格が安値で推移している為、ガソリンの販売価格は前年同月比12円下落となった。依然として、仕入価格を下回るような安値競争を行っている組合員もおり、廃止・休業等に追い込まれる給油所が後を絶たない。
	農機具	
商店街	水戸	
	筑西	台風等の天候不順の影響により、顧客の動きが悪く消費低迷となった。
	総合	工事の発注が増えてきたが、ダンピング競争はおさまらない。現在の入札制度は価格競争であり、適正価格で落札できず、無理なダンピングが発生している。設定された最低制限価格は適正価格ではなく、とても厳しい状況である。
建設業	電気工事	工事現場等の銅線ケーブル盗難が多発している。特に県南、県西、鹿行方面で太陽光発電の工事現場等で9月に入ってから8件発生した。組合としては、茨城県警による「ひばりくん防犯ネットメール」で各支部へ情報提供を行い、注意を呼び掛けている。
	管工事	
	交通安全施設業	
	鉄筋	
サービス業	ホテル・旅館	今年のシルバーウィークは昨年と比べ、最大3連休という日数の少なさも影響し、県内全エリアとも売上が減少した。さらに、天候不順の影響による、食材の原材料の高騰と観光客の出足の悪さが目立った。 雇用に関しては、殆どの施設において慢性的に不足しており、パート雇用で対応している。
	自動車整備	一昨年の自動車販売台数が増加した時期の自動車が、車検の時期を迎え、組合員事業場の車両入庫指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車、軽ともに微増となった。 前年同月比 普通車……103.7% 軽自動車…102.4%
運輸業	一般貨物運送	平成28年9月度の組合員数は117名、車輛台数は154台で前月から2名の増加となった。
	県北地区一般貨物自動車運送	主要顧客が期末になるも荷動きは低調に推移し、売上高は伸び悩んだ。燃料価格は横這いに推移したが、収益は厳しい状況となった。
その他の非製造業		

非製造業

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	生徒数の減少や給食でのパンの回数減少などが売り上げに大きく響いている。
	酒	平成29年10月21日(土)水戸芸術館にて、日本酒造組合中央会主催の「日本酒で乾杯茨城大会」の開催が決定。行政当局・各種団体からのご協力をお願いしたい。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	設定された最低制限価格が低すぎる。品確法の趣旨からいけば、適正価格でなければならない。行政は品確法による適正価格をどのように考えているのか説明いただきたい。

月次景況調査 9月のDI (前年同月比)

項目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比
景況	▲ 37.5	▲ 40.8	3.3	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 40.9	▲ 52.2	11.3
売上高	▲ 25.0	▲ 34.7	9.7	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 31.8	▲ 56.5	24.7
収益状況	▲ 35.4	▲ 46.9	11.5	▲ 38.5	▲ 46.2	7.7	▲ 31.8	▲ 47.8	16.0
販売価格	▲ 10.4	▲ 22.4	12.0	▲ 7.7	▲ 11.5	3.8	▲ 13.6	▲ 34.8	21.2
取引条件	▲ 16.7	▲ 24.5	7.8	▲ 11.5	▲ 19.2	7.7	▲ 22.7	▲ 30.4	7.7

中小企業月次景況調査(平成28年9月)DI値(前年同月比)

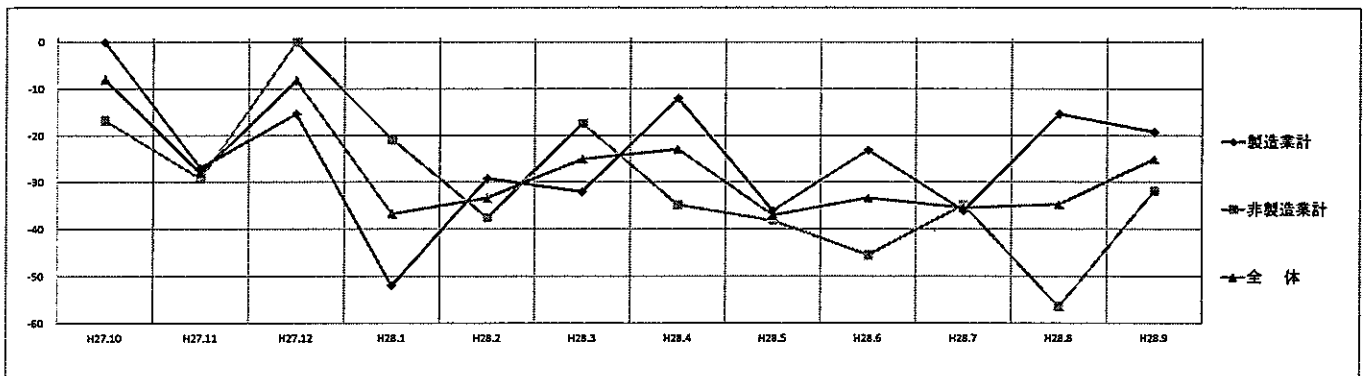
	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備投資			雇用人員			業界の景況																				
	DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)		DI	(内訳)																			
		増加	不変		減少	増加		不変	減少		上昇	不変		悪化	好転		不変	悪化		好転	不変		悪化	好転		不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化												
食料品	0.0	2	2	5	△ 33.3	0	4	2	6	16.7	1	5	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	1	3	2	6		
繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	3	0	3	0	2	1	3	
木材・木製品	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0	2	0	2	
紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
印刷	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
金属・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	0	1	1	0.0	0	0	1	1	0.0	0	0	1	1
一般機械	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
電気機器	0.0	1	0	1	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
輸送機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	2	0	2
製造業計	△ 19.2	4	13	9	26	△ 11.5	2	19	5	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 38.5	0	16	10	26	△ 19.2	2	17	7	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 34.6	1	15	10	26	△ 19.2	0	21	5	26
卸・売業	△ 75.0	0	1	3	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	2	2	4	0.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
小売業 (商店街含む)	△ 40.0	1	4	5	10	△ 20.0	1	6	3	10	△ 10.0	1	7	2	10	△ 40.0	0	6	4	10	△ 40.0	1	4	5	10	△ 40.0	0	6	4	10	△ 40.0	0	6	4	10	△ 40.0	0	6	4	10	△ 40.0	0	6	4	10
サービス業	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
建設業	0.0	1	2	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	4	0	4
運輸業	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	1	1	2
非製造業計	△ 31.8	4	7	11	22	△ 21.4	1	9	4	14	△ 13.6	2	15	5	22	△ 22.7	0	17	5	22	△ 31.8	0	9	10	22	△ 19.2	2	17	7	26	△ 19.2	0	19	3	22	△ 40.9	1	11	10	22	△ 19.2	0	19	3	22
全体	△ 25.0	8	20	20	48	△ 15.0	3	23	9	40	△ 10.4	3	37	8	48	△ 16.7	0	40	8	48	△ 35.4	3	25	20	48	△ 19.2	2	17	7	26	△ 16.7	0	40	8	48	△ 37.5	2	26	20	48	△ 19.2	0	40	8	48

D I 値推移表 (H27. 10月 ~ H28. 9月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9
食品品製造業	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0
製造業(食品品製造業以外)	0.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 36.8	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 31.6	▲ 30.0	▲ 47.4	▲ 10.0	▲ 25.0
製造業計	0.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 52.0	▲ 29.2	▲ 32.0	▲ 12.0	▲ 36.0	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 15.4	▲ 19.2
卸売業	50.0	25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 72.7	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 80.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 29.2	0.0	▲ 20.8	▲ 37.5	▲ 17.4	▲ 34.8	▲ 38.1	▲ 45.5	▲ 34.8	▲ 56.5	▲ 31.8
全体	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 8.2	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 22.9	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 35.4	▲ 34.7	▲ 25.0

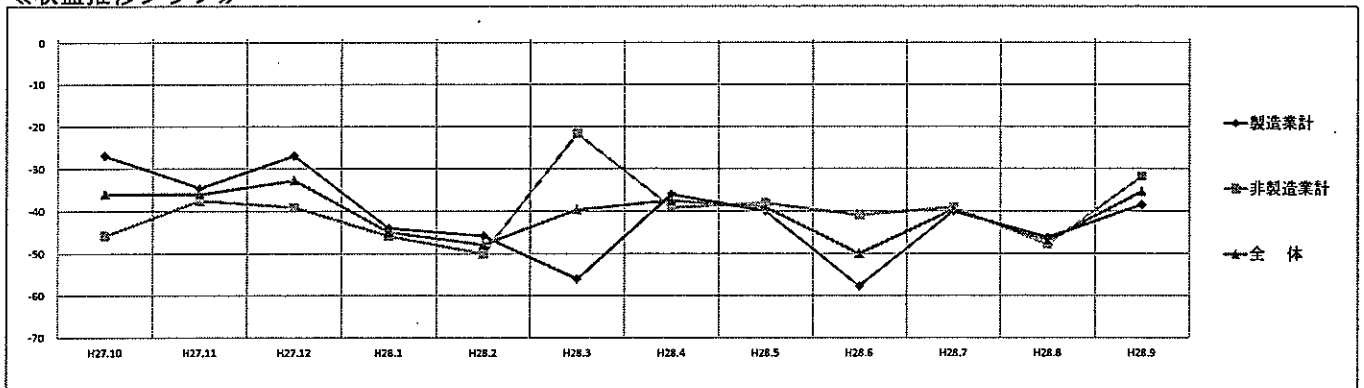
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9
食品品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
製造業(食品品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 52.6	▲ 57.9	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 57.9	▲ 55.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 45.8	▲ 56.0	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 57.7	▲ 40.0	▲ 46.2	▲ 38.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 45.5	▲ 70.0	▲ 40.0
サービス業	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 45.8	▲ 50.0	▲ 21.7	▲ 39.1	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 39.1	▲ 47.8	▲ 31.8
全体	▲ 36.0	▲ 36.0	▲ 32.7	▲ 44.9	▲ 47.9	▲ 39.6	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 50.0	▲ 39.6	▲ 46.9	▲ 35.4

《収益推移グラフ》

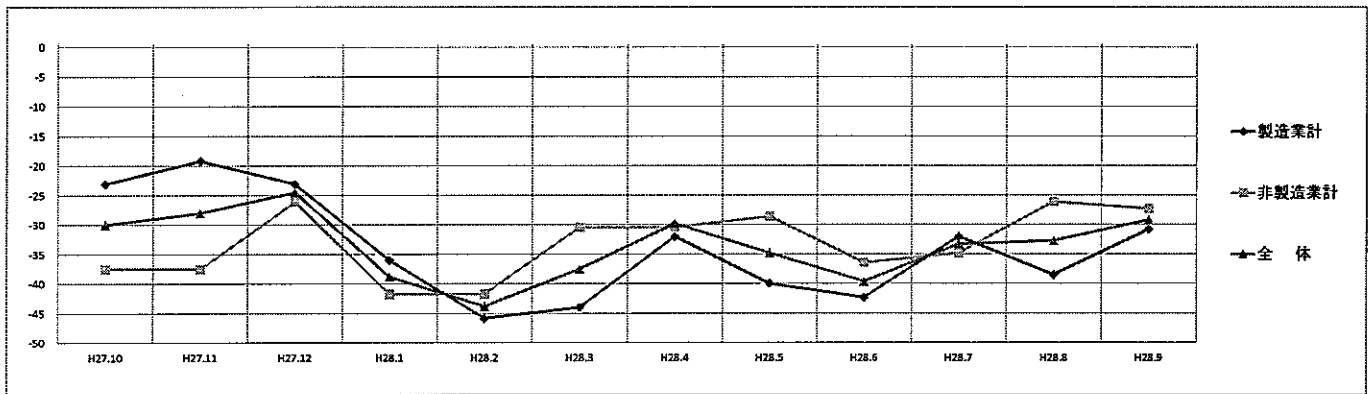


D I 値推移表 (H27. 10月 ~ H28. 9月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 47.4	▲ 47.4	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 36.0	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 30.8
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 45.5	▲ 40.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 26.1	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 28.6	▲ 36.4	▲ 34.8	▲ 26.1	▲ 27.3
全体	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 24.5	▲ 38.8	▲ 43.8	▲ 37.5	▲ 29.8	▲ 34.8	▲ 39.6	▲ 33.3	▲ 32.7	▲ 29.2

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 1	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9
食料品製造業	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 42.1	▲ 57.9	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 45.0	▲ 47.4	▲ 35.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 44.0	▲ 37.5	▲ 52.0	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 36.0	▲ 30.8	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 54.5	▲ 70.0	▲ 50.0
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 25.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 54.2	▲ 54.2	▲ 34.8	▲ 47.8	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 43.5	▲ 52.2	▲ 40.9
全体	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 32.7	▲ 49.0	▲ 45.8	▲ 43.8	▲ 31.9	▲ 39.1	▲ 41.7	▲ 39.6	▲ 40.8	▲ 37.5

《景況推移グラフ》

